

2-3 試験研究機関における調査研究

(平成29年度)

機関名	担当課	研究テーマ
府立公衆衛生研究所	微生物部 細菌課	<ul style="list-style-type: none"> 腸管感染症および類似疾患における細菌学的研究 細菌性呼吸器感染症に関する調査研究 結核菌および非結核性抗酸菌に関する研究 細菌性食中毒に関する研究 薬剤耐性菌感染症に関する調査研究 食品内で産生される細菌毒素に関する研究 魚介毒及びノロウイルスに関する研究
	ウイルス課	<ul style="list-style-type: none"> 腸管感染性ウイルスに関する研究 ウイルス性呼吸器感染症の研究 麻疹・風疹等の発疹を主徴とするウイルス感染症に関する研究 衛生動物を介する感染症に関する研究 HIVおよびその他の性感染症に関する研究 原虫・寄生虫に関する研究
	微生物課	<ul style="list-style-type: none"> 食中毒の原因究明に関する研究 感染症の予防に関する研究 動物由来感染症に関する研究 寄生虫に関する研究 衛生動物に関する研究
	衛生化学部 食品化学1課	<ul style="list-style-type: none"> 食品添加物等に関する衛生学的研究 健康危害物質に関する衛生学的研究 食品中の残留農薬等に関する研究 食品中に残留する微量有害物質に関する研究 残留性化学物質によるヒト暴露とその影響に関する研究 食品中のアレルギー物質等に関する研究
	食品化学2課	<ul style="list-style-type: none"> 食品中の化学物質に関する研究 食品表示に関する研究 器具・容器包装等に関する衛生学的研究 食品の栄養および機能性に関する研究
	医薬品課	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品等の品質確保及び健康被害防止に関する研究 危険ドラッグに関する研究
	生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> 水道水と生活排水の安全性に関する総合研究 環境微生物に関する調査研究 家庭用品に関する衛生学的研究 大気汚染、住居及び職場環境における有害物質による健康影響に関する研究

	環境研究部	<ul style="list-style-type: none"> ・PM2.5の環境基準超過をもたらす地域的／広域的汚染機構の解明 ・PM2.5など反応性大気汚染に関する研究 ・大気中超微小粒子（ナノ粒子）の実態把握に関する調査研究 ・瀬戸内海周辺におけるPM2.5高濃度汚染の要因解明 ・地球温暖化による気候変動の影響予測 ・降水量変動が植生の揮発性炭化水素放出に及ぼす影響の解明 ・ばい煙発生施設常設用PM2.5排出濃度モニタリングシステムの開発 ・排ガス中ダスト自動計測器の評価用煙道実験設備の構築 ・化学物質環境実態調査 ・廃棄物処分場における浸出水対策の検討 ・災害・事故に起因する化学物質リスクの評価・管理手法の体系的構築に関する研究の検討 ・高リスクが懸念される微量化学物質の実態解明に関する研究 ・海域における水質管理に係わる栄養塩・底層溶存酸素状況把握に関する研究 ・外洋水のCODが大阪湾のCODに与える影響 ・大阪エコ農産物および直売所での農産物の安全・安心確保に向けた残留農薬検査 ・河川農薬モニタリング調査 ・農空間整備事業に係る水質・土壌調査 ・高親水性化学物質対応の新規パッシブサンプラーの構築とキャリブレーションの簡略化 ・河川農薬パッシブサンプリング法の確立に関する研究 ・水質基準農薬にかかるモニタリング手法の検討 ・農薬等分析体制整備事業 ・農薬残留対策調査事業 ・地域特産野菜の農薬登録適用拡大（食の安全研究部と共同実施） ・国内における化審法関連物質の排出源及び動態の解明 ・廃棄物処分場排水の1,4-ジオキサン対策の検討 ・高温膜分離可溶性槽を利用した下水汚泥嫌気性処理の高速化 ・膜分離型嫌気性処理における非定常状態が下水汚泥処理性能と微生物相に与える影響解明 ・食品残渣のバイオガス化を高速にする新規嫌気性膜分離プロセス ・異常水質事故の原因究明及びデータの集積 ・農地管理実態調査 ・酸性雨モニタリング土壌植生調査 ・野菜残渣を循環利用するための技術開発 ・嫌気性下水汚泥の肥料利用 ・水管理等による水稲と素低減技術実証 ・えだまめの収量増加に寄与する栽培技術等の開発（食の安全研究部と共同実施） ・大阪湾における栄養塩の適正管理と魚介類への影響に関する研究（水産研究部と共同実施） ・災害・事故に起因する化学物質リスクの評価・管理手法の体系的構築に関する研究の検討 ・安威川ダム魚類等調査 ・安威川及び余野川アユ漁場調査 ・魚類防疫体制整備 ・イタセンパラ保護増殖調査 ・タナゴ類の生育状況調査 ・環境DNAによる河川とその流域に生息する生物モニタリング手法の開発 ・生物多様性に係る環境教育指導及び生物調査 ・侵略的拡大竹林の効率的駆除法と植生誘導技術の開発 ・鳥獣被害対策調査（シカ・イノシシ） ・有害鳥獣生息状況調査（アライグマ） ・人為的な生息地攪乱がもたらすシカ被害強度変動パターンの解明 ・流木対策事業効果検証調査 ・GIS解析による森林災害危険箇所調査
--	-------	---

府立環境農林水産 総合研究所		<ul style="list-style-type: none"> ・間伐等実施林分モニタリング調査 ・間伐によるスギ・ヒノキの根張り抵抗力の向上検証試験及び森林の防災機能等に与える効果検証 ・ナラ枯れ被害跡地の森づくり検討基礎調査 ・サクラ類等樹木を加害する外来種クビアカツヤカミキリの被害実態調査 ・関西のニホンジカ個体群における外来シカ由来の遺伝子流入状況の把握 ・一槽式 SAD システムによる海面埋立管理型処分場浸出水の高効率・低コストの窒素低減技術の提案 ・酸性雨モニタリング（土壌・植生）調査 ・高温膜分離可溶化槽を利用した下水汚泥嫌気性処理の高効率化 ・ミズアブの機能を活用した革新的資源循環系の構築
	食の安全研究部	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤を用いない農産物の殺菌・消毒法の開発 ・天敵等の生物農薬を利用した農産物栽培技術開発 ・大阪エコ農業推進研究 ・気候変動に伴う花きの開花不安定要因の解明と対策 ・エダマメダイズシストセンチュウの生物的防除法の開発 ・水ナスの低コスト複合環境制御による安定生産の実証 ・葉菜類エコ農産物等安定生産対策事業 ・地球温暖化による施設栽培の夏季高温対策技術の確立 ・販売形態の多様化に対応した果樹の栽培管理技術の開発 ・潜熱蓄熱資材による燃油削減効果実証試験 ・水稻の高温登熟障害対策 ・水稻のエコ農産物生産における緑肥作物の利用技術 ・乳牛のストレスに関する研究
	水産研究部	<ul style="list-style-type: none"> ・浅海定線調査 ・気象・海象の定置観測 ・大阪湾漁場水質監視調査 ・赤潮発生状況調査 ・有毒・有害プランクトン発生監視調査 ・赤潮・貧酸素水塊対策推進事業 ・衛星データを用いた埋立地周辺を含む大阪湾における赤潮動態の解明 ・麻痺性貝毒の機器分析法の高度化及びスクリーニング法の開発 ・準易分解性溶存有機物の動態解明 ・埋立てに伴う地形変化が大阪湾内部生産有機物の堆積過程に与える影響評価 ・真核従属栄養生物ヤブレスボカビ類の大阪湾における生態的影響力の解明 ・大阪湾における転送効率解析 ・生物モニタリング調査 ・栽培漁業技術開発に関する調査研究 ・栽培漁業試験・栽培漁業総合推進事業 ・資源管理方漁業の効率的な推進に関する調査研究 ・資源評価調査 ・生態系ネットワーク修復による持続的な沿岸漁業生産技術の開発（カレイ類） ・キジハタの競争力強化に向けた調査研究 ・環境 DNA を活用した閑空島周辺の藻場魚類の分布調査法の確立 ・大阪湾におけるクルマエビ科小型えび類の資源動態と環境要因の関係性の解明